白崎勇、初完封！

１回戦
10年春季リーグ
第５週・５月10日
１勝０敗

駒大7−0東農大

拓大戦の大学初完投に続き、無四球で大学初の完封勝利を収める白崎勇

初打席、奥野は本塁打を浴びせる
(右上)ベンチへ戻り、白崎勇とハイタッチする奥野

無四球で流れ引き寄せる

東農大	０００	０００	０００	０
駒　大	２００	０３１	１０×	７

３季連続勝ち点を落とした東農大との初戦。

初回、１死満塁の好機で北畠俊也(経４)の右前適時打で先制する。５回にも押し出しと敵失で３点を奪う。

先発・白崎勇気(営３)は９回を投げ切り、無四球被安打３で完封勝利。

「まっすぐが走っていた」と白崎勇は１、２回を三者凡退に抑える。しかし３回、犠打処理に焦り自らの失策で初めてピンチを背負うが、後続を断ちきり０点に抑える。

打線は初回、先頭の岡将吾(法３)が初球を叩き中前安打とすると、２つの四死球で満塁とする。

「つないで、つないでチャンスが生まれるので」と、続く北畠がしっかり右前適時打でつなぐ。続く上村新(営４)の三ゴロ間にも走者が還り２点を先制。

５点リードで迎えた６回も攻撃の手を緩めない。先頭の岡を一塁に置き、赤木義英(営４)がこの試合２本目となる二塁打を放ち６点目を奪う。７回には奥野智也(経３)が「入るとも思わなかったし、がむしゃらにやったらいつの間にか入ってた」と公式戦初打席で左翼に本塁打を放ち試合を決めた。

援護をうけた白崎勇は７回に失策と安打で２死一、三塁の状況を作るが、強気の投球で次の打者を３球で仕留める。

「(背番号)18番らしい投球が出来たと思う」と、最後まで集中力を切らさなかった白崎勇。「常に０で抑える」という意識で９回を投げ切る。相手打線を散発３安打に抑え公式戦初完封。この結果にさらに「無四球が一番嬉しい」と満足げな表情。

犠打失敗や失策など課題も残された試合となったが、２部降格後初めて東農大戦の初戦をものにした。

写真＝桝島知佳
文＝田上慧

先制の適時打を放った北畠(左)

【駒　大】	打安点
⑥　岡	３１０
④赤　木	４２１
H4 増　本	１００
③笠　間	４２０
PH 柴　田	０００
⑨山　本	３００
DH 北　畠	３２１
②上村新	２０２
⑦石　橋	２００
PH 山　下	１００
７奥　野	１１１
⑤白崎浩	４０２
⑧中　谷	２００
８小　林	１００
H8 嘉数駿	１００
計	32８７

▽二塁打＝赤木２
▽本塁打＝奥野

	回	打安責
○白崎勇	９	313０